

2022 年 3 月 28 日

報道関係各位

株式会社 O K B 総研

新生立浪ドラゴンズによる経済波及効果 愛知県への経済波及効果は約 146.8 億円

O K B グループのシンクタンク（株）O K B 総研（大垣市郭町 2-25 社長 青木義実）は、標題のとおり取りまとめたいたしましたのでご案内します。

立浪新監督による新生中日ドラゴンズのオープン戦入場者数は、前年比で大きく増加しました。コロナ禍における制限からの反動もあるものの、セ・リーグ他球団と比較しても突出しており、新生立浪ドラゴンズへの注目の高さがうかがえます。
今般は新生立浪ドラゴンズによる愛知県への経済波及効果を算出しました。

調査結果要旨

新生立浪ドラゴンズ
による経済波及効果

経済波及効果 約 146.8 億円
(消費増加額 約 103.6 億円)

試算結果

項目	具体例	消費増加額	経済波及効果 (総合効果)
オープン戦	入場料、飲食費、交通費、 グッズ購入等	10.7 億円	15.2 億円
公式戦	入場料、飲食費、交通費、 グッズ購入等	92.9 億円	131.6 億円
合計		103.6 億円	146.8 億円

(※) 消費額は、2021 年公式戦・2022 年オープン戦の入場者数を基に一定の仮定の元、当社で試算。

経済波及効果は愛知県「2015（平成 27）年愛知県産業連関表分析ツール」を用いて推計。

資料配布場所：名古屋金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ

【本件に関する問合せ先：O K B 総研 調査部 中澤 TEL:0584-74-2615 FAX:0584-74-2688】

(1) オープン戦の入場者数（日本野球機構より）

球団	球場	入場者数	試合数	1 試合平均	21 年公式戦 入場者平均	21 年公式戦比
中日	バンテリ	162,044	8	20,256	8,363	242.2%
読売	東京	76,266	6	12,711	11,286	112.6%
阪神	甲子園	85,762	8	10,720	10,555	101.6%
横浜 DeNA	横浜	55,030	6	9,172	10,223	89.7%
広島東洋	マツダ	100,129	6	16,688	13,560	123.1%
東京ヤクルト	神宮	58,551	5	11,710	9,379	124.9%
合計（中日除く 5 球団）		375,738	31	12,121	11,004	110.1%

新生立浪ドラゴンズによる効果（立浪効果）について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う入場者制限もあるため、制限の変化等による増加分を考慮する。
- ・中日を除く 5 球団では監督は続投されている。

<u>立浪効果による入場者増加（1 試合あたり）</u>					
オープン戦入場者数	21 年公式戦平均	他 5 球団の増加率			
20,256 人	－	（ 8,363 人	×	110.1%	） = 11,044 人

(2) 公式戦の入場者増加の仮定

・中日ドラゴンズ公式戦 70 試合（バンテリンドームナゴヤ開催分） ・入場制限があったものの、本推計ではオープン戦の入場者数平均をもとに計算する ・昨年からの入場者数増加分より消費の増加額を推計し、経済波及効果を算定する
--

2022 年公式戦 立浪効果による入場者の推計

	入場者数	（備考）
2021 年入場者数	593,791	日本野球機構より中日公式戦のデータ
2022 年入場者数（立浪効果）	1,358,489	（2021 年公式戦平均＋立浪効果）× ホーム試合数
立浪効果による入場者増加	764,698	2022 年入場者想定 - 2021 年入場者数

(3) 立浪効果による消費増加額

(1)、(2)をもとに「①増加した入場者数の消費」と、「② ①以外の入場者（前年比 110.1%）による消費増加額」を推計。

項目	オープン戦		公式戦	
	消費増加額	人数	消費増加額	人数
① 立浪効果で増加した入場者の消費	10.3 億円	88,352 人	80.7 億円	764,698 人
② ①以外に入場者による消費増加額	0.4 億円	73,692 人	12.2 億円	653,187 人
消費増加額合計	10.7 億円		92.9 億円	

(※)消費額については、飲食費、交通費、グッズ購入など一定の仮定の元、当社で推計。

（４）消費増加額から経済波及効果を算出

（３）消費増加額から愛知県「2015（平成 27）年愛知県産業連関表 経済波及効果簡易分析（43 部門）」を用いて愛知県内への経済波及効果（生産誘発額）を算出。

- ・各項目（入場料、飲食費等）の消費額を 43 部門に分類
- ・購入者価格から生産者価格へ変換（商業マージン・運輸マージンの算出）
- ・波及効果分析ツールにより、第 1 次経済波及効果、第 2 次経済波及効果、総合効果を算出

経済波及効果まとめ

項目	オープン戦	公式戦
①最終需要（消費増加額）	10.7 億円	92.9 億円
②直接効果（県内自給分）	9.5 億円	82.5 億円
③第 1 次間接効果（②による生産誘発）	3.4 億円	29.3 億円
④第 1 次波及効果（②+③）	12.9 億円	111.8 億円
⑤2 次波及効果（雇用者消費の生産誘発）	2.3 億円	19.8 億円
総合効果（④+⑤）	15.2 億円	131.6 億円

（※）表中の数値は四捨五入されたものであり、合計と合致しない場合がある。

以上